



受大総第 925 号
平成30年6月18日

大山町議会議長 杉谷 洋一 様

大山町長 竹口 大紀



議員と語る会の町民要望について (回答)

平成30年6月8日付けで報告のありました、平成30年4月に開催された「議員と語る会」で、町民から行政に寄せられた意見・要望等について、下記のとおり回答いたします。

記

1. 補助金の効果をしっかり検証してほしい。

(回答)

町からの各種補助金の検証については、実績報告や完了報告などで事業の実施について確認をしております。

また、事業効果については事務事業評価において、費用対効果を客観的に評価し、その結果を行政運営の改善につなげることにより、町民の満足度の高い行政サービスを効率的に提供していけるよう検証を行っています。

2. 町民にとって大事な説明会（機構改革など）を、1か所でしか開催されていないが、中山・名和・大山地区の3地区で住民説明会を開催すべきではないか。

(回答)

住民説明会の開催につきましては、対象者や説明会の内容により各地区での開催にも取り組んでいきたいと考えております。

3. 陸上競技場など、公共施設のトイレが汚すぎる。指定管理も含め、施設全体の管理状況を把握しているか。

(回答)

施設のトイレの清掃につきましては、指定管理者が状況を確認のうえ清掃を行っており、チェック表で管理状況が確認できるようにして管理しているところです。

トイレが汚いとのことをご意見をいただきましたので、随時管理状況の確認や指定管理先とも連絡を密にし、再度管理の徹底を図っていきます。また、経年によるトイレの内装及び傷みの激しい便器については、修繕や更新などについても検討したいと考えております。

4. まぶやから東側道路が狭くなっていて、事故につながらないか心配な箇所がある。側溝にグレーチングを敷設できないか。

(回答)

現地の側溝幅は約20cm程度で、グレーチング設置による効果は限定的であると考えられるため、敷設は困難であると考えております。

5. デマンドバスの停留所マークが消えない工夫ができないか。(例えば、壁面に描くとか)

(回答)

デマンドバスの停留所マークは、道路管理上の諸規制等により現行のシール状のものとなっております。耐候性素材で作成しておりますが、経年劣化等で見えなくなってしまう場合がございます。

停留所マークの張り替え等を行い対応してまいりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

6. 誘致できない工業団地等に太陽光発電設備を設置してはどうか。

(回答)

誘致できない工業団地等に太陽光発電設備を設置してはどうかとのことでありますが、工業団地につきましては、太陽光発電設備を設置しても雇用の増大にはつながりませんので、引き続き工場誘致に努めていきたいと考えております。

7. 自主防災組織と行政で講習会や意見交換の機会を設けるべきではないか。

(回答)

現在でも各自主防災組織において、救急救命講習やAED講習、消火栓や消火器講習などを自主防災組織が自主的に実施されており、指導の要請を受け町消防団などが指導を通し意識を高める機会となっているものと認識しています。

8. 区長業務が煩雑である。各支所で相談できる仕組みづくりができないか。

(回答)

区長業務につきましては、皆さまに大変お世話になっております。

区長の業務が多く大変であることは承知しており、補助金申請等の簡素化に努めるなど出来る限りご負担とならないように努めているところです。

なお、役場への手続きなどご不明な点は、各支所の総合窓口室へお気軽にご相談ください。

9. スピード感を誤解してないか？ポートフェスティバル、老人クラブなどの予算をカットするにしても、急ぎすぎではないか。

(回答)

みくりやポートフェスティバルについては実行委員会の事情により予算化されていないものです。また、老人クラブについては、これまで県と町別々に申請していたものを見直し、町は県の加算補助とし一本化することで老人クラブの負担軽減を図ったものです。

10. 予算捻出の手法として、フレックス制導入等で残業代を縮減するなど捻出すべきではないか。

(回答)

フレックスタイム制度は、超過勤務の縮減の面や、ワークライフバランスを推進する面からも、職員が健康で生き生きと働き、行政サービスの向上への効果も期待できると考えられますので、制度の導入について検討していきたいと考えております。

1 1. 不祥事が相次いで新聞沙汰になっており、行政に対して不安・疑問視が出ている。リスク対策の専門部署を設置すべきではないか。

(回答)

相次ぐ不祥事で、町民の皆様には、ご心配、ご迷惑をお掛けし、心よりお詫び申し上げます。

不祥事への対応につきましては、再発防止への取り組みを進める中で、行政への信頼の回復に取り組んでいきます。

なお、専門部署の設置については考えておりません。

1 2. 10年プランやエネルギー計画など「計画」が形骸化していないか？

(回答)

未来づくり10年プラン（総合計画）を核とし、各種計画を策定しておりますが、行財政の効率性・有効性の継続的な改善・向上を図るため、PDCAサイクルに基づき必要に応じて見直しを行っております。

未来づくり10年プランにつきましては、毎年、実施計画（1期3か年）の見直しを行い、行政ホームページにて公表しております。

ご指摘いただきましたように、各種計画が形骸化しないようPDCAサイクルを実施しながら計画の見直しを行ってまいります。

1 3. 大山口駅舎の廃止は本当か？

(回答)

大山口駅舎の廃止は本当か？とのことですが、昨年、JRから無人駅舎の全国的な改築として、老朽化した駅舎のシンプル化へ向けた改修計画について説明がありました。本町内ではJR管理である大山口駅舎についてシンプル化への改築が計画されているとのことでもあります。